

# 1章

## どのように作業が進むのか

### ～畜産の現場で取り組む作業～



この章では、実際に畜産現場で、障がいのある人によって担われている作業内容や支援方法を、具体例を交えて説明します。

畜産経営は、さまざまな作業から成り立っているので、障がい者に任せることのできる作業の選択肢も多様です。ポイントとなるのは、畜産経営の中で発生する作業のうち、無理なくできる作業を順に任せていくことです。一連の作業工程を細かく分割してから、障がい者の個性や技能に合わせて、そのうちの一部の作業を分担させるとうまくいきます。福祉分野では作業の「切り出し」といった言葉が使われます。経営者は、全体の工程をみて、必要な作業工程を組み立て直します。

## 1-1 畜産現場での作業の種類

### (1) 畜産分野におけるさまざまな仕事と現場作業の分類

畜産分野では、幅広くさまざまな仕事があり、大別して下表のようなものがあります。動物の飼育を行うだけでなく、乳・肉・卵などの加工、直接販売に加え、近年の6次産業化の流れから、喫茶やレストランの部門をもつ畜産経営があります。また、畜産以外に米麦や野菜の生産を行う耕畜複合経営の農家も少なくありません。

■表1.1 畜産現場の仕事の種類

部 門	仕事の種類
生産部門	酪農、肉用牛、養豚、鶏卵、ブロイラー、馬、羊、養蜂など
加工部門	牛乳・乳製品製造、卵加工品、菓子類 食肉処理、食鳥処理、ハム・ソーセージ製造 GPセンター業務(卵の清浄・殺菌・格付・パッキング) 飼料生産加工(TMRセンター業務、リキッドフィード製造など)
販売部門	販売 乳製品、食肉、肉加工品、ケーキ、その他 飲食 喫茶店、レストラン、その他 堆肥や鶏糞の販売
複合部門(耕種)	飼料作物、米麦、大豆、野菜、果樹など

#### ◆生産部門の仕事



#### ◆加工部門の仕事



#### ◆販売部門の仕事



#### ◆複合部門(耕種)の仕事



こうした状況は、畜産農家の仕事の種類を多くする傾向にあります。畜産農家が行う仕事が多様になる中で、障がいのある人に分担してもらえる仕事を見つけて切り出していくことにより、畜産農家の経営主らが畜産経営の中の大切な仕事に専念することが可能になるのです。それぞれの作業は、「搾乳」「採卵」といった畜産経営の畜種による特徴的なものもあれば、「給餌」「清掃」といった共通のものもあります。個々人の特性に合わせて、相応しい作業を探すことができるでしょう。

畜産農家の仕事の中には、長期的な経営計画立案をはじめ、さまざまな業務があります。本書では、障がいのある人が現場で作業を行う場合を想定して、主に日常の現場作業を細かくみていきます。どのような作業があるのかを再確認することが、障がい者の仕事を見つけ出す第一歩になります。

表1.2のように、家畜の飼養現場に共通の作業は、牧草の生産、給餌、畜舎の清掃、糞尿の処理などがあります。また、家畜の健康管理、繁殖管理や設備確認のための見回りのような管理作業があります。酪農では搾乳、鶏では、採卵、補鳥の作業が加わります。卵では、集められた卵の清浄、殺菌、格付け、パック詰めなども必要になります。

加工部門では、原材料の仕分けや加工作業、製品の包装や配送準備の作業があります。販売部門では、販売準備の作業と、販売店やレストラン等で直接消費者にサービスする作業などがあります。準備には、ラベル作成やタグ付けなどの作業があるかもしれません。

耕畜複合経営の場合、耕種作業では、播種(種まき)、定植(苗植え)、水管理(水やり)、施肥(肥料やり)、除草(草取り)、出荷調製(出荷準備)などの作業があります。

■表1.2 部門ごとに発生する多様な作業例

部 門	現場作業の種類
生産部門	牧草生産〈全般、補助、栽培管理、収穫調整、その他〉 給餌〈全般、補助、計量、配合、配餌、その他〉 搾乳〈全般、補助、搾乳用カップ取り付け、カップ取り外し、その他〉 採集〈捕鳥、採卵、選別、パック詰め、その他〉 堆肥製造〈全般、補助、ボロだし、運搬、機械操作、袋詰め、その他〉 清掃美化、畜舎管理
加工部門	原材料仕分け〈全般、補助、受入、選別、計量、洗浄、その他〉 加工作業〈全般、補助、カット、調理、機械操作、機械洗浄、その他〉 包装作業〈全般、補助、選別、パック資材準備、パック詰め、選別、その他〉 配送〈全般、補助、荷積み、荷下ろし、その他〉
販売部門	販売および飲食店〈全般、補助、調理、接客、レジ、その他〉
複合部門(耕種)	栽培〈全般、補助、肥培管理、その他〉 収穫〈全般、補助、収穫、選別、包装、その他〉

## (2) 畜産現場によく見られる作業

障がい者が就労している畜産現場では、どのような作業を担当しているのでしょうか。ここでは、障がい者が働いている畜産現場での事例をもとに、実際に障がい者が担っている作業の例を紹介します。

ただし、ここで挙げる事例は、これまでの事例調査やアンケート調査などで確認できたものにはすぎません。それぞれの経営によって作業の方法や環境も異なります。実際にはさらに多種多様な作業がありますし、さらに工夫しだいでさまざまな作業を作り出すことができます。

### ◆生産部門での担当作業の例

#### 給 餌

給餌の作業では、飼料の計量、配合を行い、それぞれの個体に合わせた配合・量のエサを配ります。特に、配餌の作業を担うことが多いようです。

個体に合わせた飼料の配合比率や配分量の調整は、畜産農家や福祉施設の支援員が担当することも多いのですが、こうした作業を任されている障がい者もあり、技能を見極めて作業分担を考えています。



チームを組んで配餌作業



自家配合飼料の準備

#### 搾 乳

搾乳作業は、機械化の程度により作業内容が異なるようです。大型動物に直接接触れますので、習熟の必要な作業です。

写真の事例では、経営主の判断で、当初はおとなしい牛のみを選んで、搾乳をしていました。次第に作業を覚え、技能が習熟した現在では、多くの牛を担当しています。



搾乳にも習熟

## 採集

農場の出荷や販売方法により異なりますが、採卵の作業を中心に、卵の洗浄や汚れのふき取り、選別、パック詰めまでの作業を行っています。

ケージを使用している場合は、動物に直接触れることがない点では、作業者にとって比較的安全な作業です。



採卵

(写真提供：佐賀県畜産協会)



洗卵機から出てきた卵を並べる

## 畜舎の清掃、堆肥製造

畜舎の清掃は、畜種を問わず、多くの事例で障がい者の担当作業になっています(コラム参照)。家畜の健康管理に欠かせない作業です。

動物との距離の取り方などについては、はじめにきちんと指導する必要があります。

堆肥製造工程では、大型機械の運転は家族従業員が扱うことが多いようです。



畜舎の清掃

(写真提供：千葉県畜産協会)



堆肥の製造

## 飼料の生産、耕種農業

自家飼料を使用しているところでは、飼料生産の作業があります。耕畜複合経営体では、耕種作業の中で、播種・定植・管理・収穫・片付けなどの過程でさまざまな作業の可能性が広がります。



稲わら集め



広大な畑での野菜の収穫

## 管 理

動物の健康状態や繁殖管理、設備の確認などの見回りをしています。

いつもと違う様子を見つけたときには、すぐに報告するようにします。分娩の近い動物を早く見つける人もいます。



健康状態の見回り  
(死んだヒナの除去や病気のヒナがないかなどを観察)



暖房器具の点検  
(燃料切れの有無や適切な燃焼状態の点検)

(写真提供：株式会社 ISN 福祉サービス)

## その他

放牧の前後、畜舎の移動、出荷時等における動物の移動に伴う作業があります。

また、畜舎以外にも、農場内の清掃や美化作業(花壇の手入れなど)を行います。



牛舎からパドックへ牛を移動



放牧地から畜舎へ牛を追う

## ◆加工部門での担当作業の例

### 加工、出荷調製、包装など

卵の出荷調製、生乳の加工とビン詰め、食肉処理や食肉の加工品(ハム・ソーセージなど)の製造、卵や乳製品を使った菓子類の製造など、多様な取り組みの一部を担います。



牛乳のビン詰作業の確認



回収されたビンの整理と点検



精肉作業と包装作業



加工品のイメージ



## 共通の作業



原材料の運搬作業



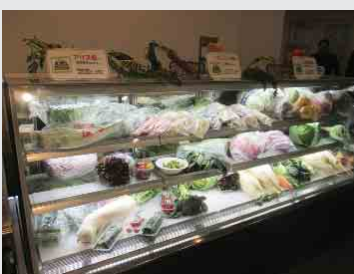
段ボール箱の片付け

## ◆販売部門

### 喫茶やレストラン、直売所での製造、販売



飲食店での配膳作業



陳列された野菜

## コラム

### 畜産現場での作業内容

すでに障がい者が就労している畜産現場では、どのような作業を担当しているのでしょうか。生産部門、加工部門、販売部門、複合部門に分けてみると、生産部門での作業数が7割近くを占めていました。

生産部門の内容をみると、「堆肥製造」「給餌」「採集」の作業が多くなっています。給餌では、「給餌全般」の割合が半数を占めますが、「堆肥製造」では「ボロだし」「袋詰め」、「採集」では、「採卵」「パック詰め」といった切り出し作業の担当が多くなっています。

業務を切り出すとさまざまな仕事があること、切り出した業務のウェイトは全体の中でも大きいことがわかります。

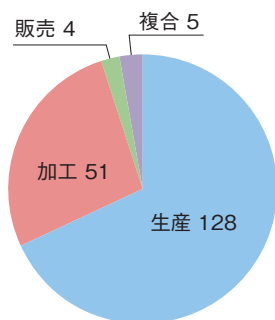
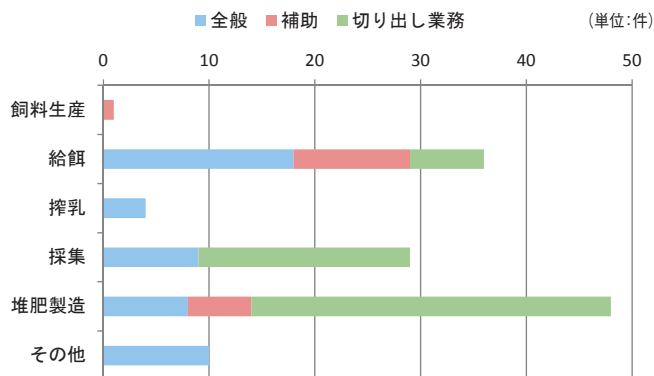


図 1.1 部門別にみた障がい者の作業数  
(現在雇用している経営体90、複数回答)



(平成27年度畜産経営支援協議会調べ)

## 1-2 作業の細分化

### (1) 作業の「切り出し」という考え方

障がいのある人と初めて一緒に働こうとすると、最初からあらゆる作業を同じように担ってもらおうと考えることは、無理があるかもしれません。

よく使われる方法の一つは、一連の作業を一つ一つの単純な作業にいったん細かく分解します。こうして作業の最小単位を作った上で、1～数個からなる分かりやすい「ひとまとまりの作業」として、障がいのある人に担ってもらいます。こうした仕事の作り方を、福祉の分野ではしばしば作業の「切り出し」と呼んでいます。「作業分解」「課題分析」などとも呼ばれます。

どのような仕事でも「適材適所」の人材配置は必要ですが、ここでは、一連の作業と考えられている作業をさらに細かく分解して、個々の障がい者の技能や意欲を見極めて割り振る(作業と作業者のマッチング)点が特徴です。

基本的に障がい者に向けた仕事、向かない仕事というものは一概には言えませんが、一人ひとりの障がいの状況や技能の習得状況、本人の希望や意欲などによって、どうしても制約が生じます。できる作業をできる人に、得意な作業を得意な人に、順次、任せていくようにします。繰り返し練習することでできる作業の種類は増えていきますし、可能な作業の範囲が広がらない人も、それぞれが可能な作業のスペシャリストになっていきます。

また一つ一つの作業は短時間でできる小さな仕事でも、農場全体では大きな作業量となっていたはずで、そのため、作業の合間で行っていた人の負担を減らすことができます。

### (2) 作業工程の分割と組み立て

農家は、切り出して細分化した作業を再構成して、作業全体が、仕事のプロセスとして過不足のないよう組み立てます。

作業を細かく分割することや切り出した作業を作業者に割り降ることは、経営主自身が行うことも可能ですが、慣れないうちは、専門家の支援を得ることで、負担を軽減するとともに適切な作業の分割や割り振りが進むこともあります。例えば、ジョブコーチと呼ばれる専門家の支援を求めることも有効です。(後述)

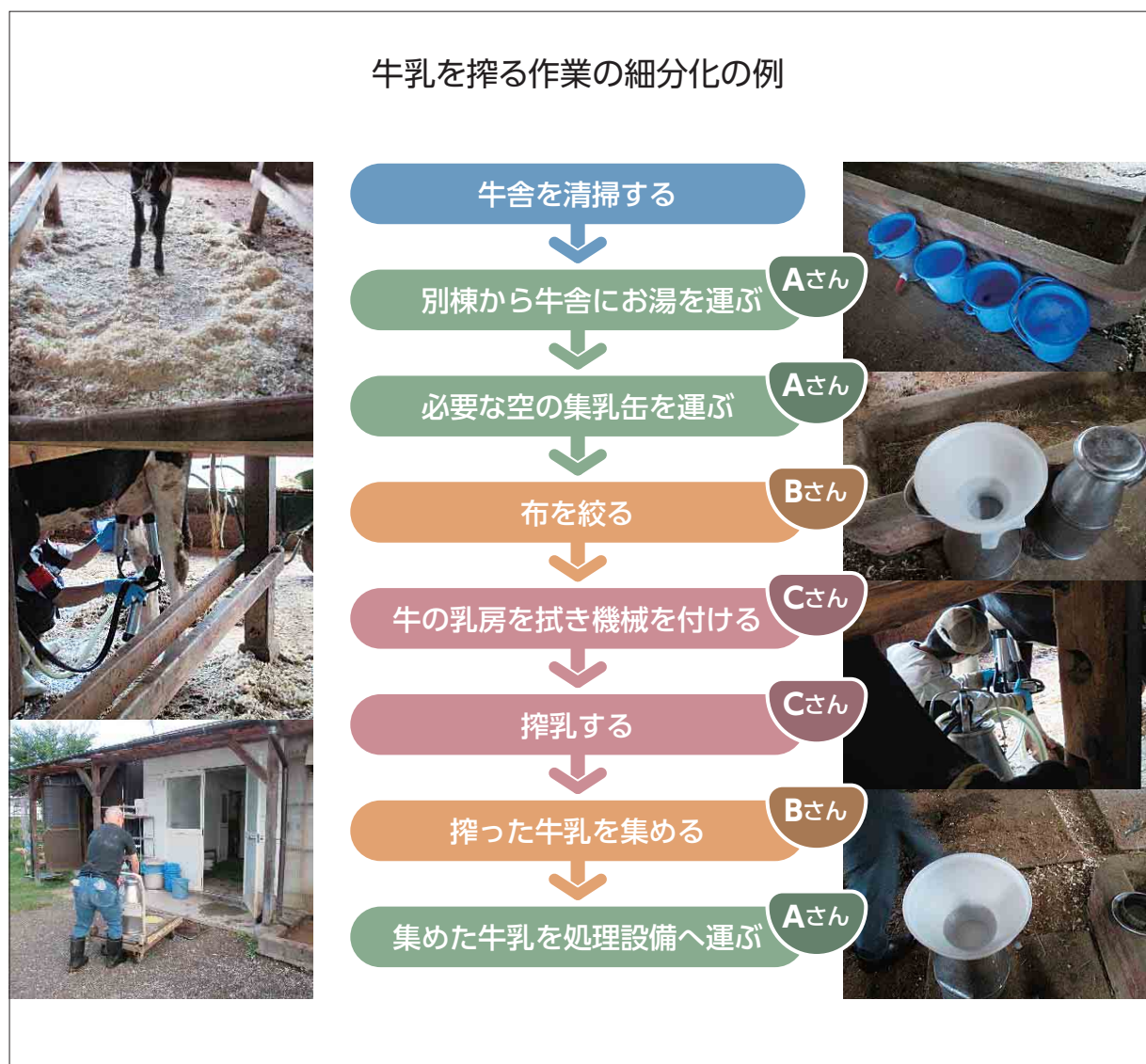


## 事例 一連の作業を細分化 複数の障がい者が共同で担当

従業員の個性に合わせて、できる人ができる作業を担当するために、一連の作業を細分化して(切り出して)分担しています。

ある農園での搾乳作業では、搾乳用機械を装着する前に牛の乳房を清潔にするために、洗浄用の温水が必要です。そこで、「牛舎にお湯を運ぶ」「布を絞る」「牛の乳房を拭く」「搾乳用の機械をつける」「搾乳する」などの作業に分けて、それぞれ別の人が担当しています。搾った牛乳を「牛乳の処理施設に運ぶ」作業のみを担当する人もいます。

経営者らが作業者の特性を見ながら、分担を決めたそうです。一つの技術に習熟したら、できることを増やしていきます。



### (3) 細分化した作業の集約と作業者への割り振り

切り出した一つ一つの作業は、とても小さい作業かもしれませんが、農場全体や地域の農場全体で量を集め、組み合わせていくと、仕事として成立する量になります。農家からみて小さな作業と感じていて、日々分散して行っていることも、誰かに任せることができれば、その時間を他の仕事に充てることができます。

こうした作業を任せるとは、対価(賃金など)を支払うのに十分値すると実感している経営主は多く存在します。

また、担当できる作業の幅(守備範囲)は狭いけれども、一つのことについては非常に長けた人材がおり、いかに特性を引き出し、職務の中で発揮してもらうかがポイントとなります。

#### 事例 小さな作業を集める

##### ●段ボール箱の解体や容器の洗浄

例えば、多くの作業現場では、資材の入っていた包装紙や箱を開封したり、空箱を解体したり、素材別に容器を分別して一定の場所に集めるような作業が発生します。こうした仕事を任せることができます。

規模が小さい農家では、毎日の作業とはならないかもしれませんが、ある農園では、連日多くの梱包された資材が届きます。ここでは、開封された段ボール箱を集めて回り、所定の場所に集めて、つぎの作業を担当しています。

また、資材を運ぶコンテナ容器を清潔にするため、毎日洗浄しています。この洗浄作業を専門とする障がいのある従業員もいます。



#### 事例 点検の‘スペシャリスト’になる

##### ●牛乳ビンの欠損の点検

生乳の殺菌処理やビン詰を行う処理工場があります。ここでは、回収したビンの点検作業があります。

経営主によると、担当者はヒビや欠けなどのキズを注意深く点検し、ベテランの従業員になると微細なキズも決して見逃さないということです。また、牛乳の充填工程でも、集中して牛乳ビンを観察し続けていて充填量が不足しているときにもすぐに気がつくのだそうです。



#### (4)「切り出し」方法などへの支援

本書を読まれている畜産農家の方は、畜産現場の作業の専門家ですが、必ずしも障がい者の就労の専門家ではないかもしれません。はじめて障がいのある人と接したり、一緒に仕事をしたりするときに、とまどいや疑問が生じるかもしれません。畜産経営の中の多様な作業のうち、どのような作業を任せることができるのか。自身の農場で、どのような準備が必要なのか、ふだんの作業の仕方を少し変えた方がよいのか、など。

障がい者雇用を長年続けている経営主の中には、「餅は餅屋」という言葉をよく使う方がいます。遠慮せず、地域にある、障がい者の就労支援を専門とする機関を気軽に利用しましょう。

障がい者が事業所に定着できるよう、事業主と障がい者に対して支援や助言を行うところとして、「地域障害者職業センター」では、ジョブコーチ支援といって障がい者が職場に定着できるよう、ジョブコーチ（職場適応援助者）が職場に出向いて、障がい者および事業者に対して支援や助言などを行うサービスがあります。「障害者就業・生活支援センター」では、就業やそれにとまなう日常生活上の支援を必要とする障がい者に対し、職場や家庭を訪問して支援します。

地域により特色はありますが、事業所での作業を体験した上で就労予定の障がい者に適した作業の切り出し方法を提案したり、道具を使って難しい作業を簡単に担えるよう工夫したり、地域にあるさまざまな支援機関とつないでくれます。



## 参考情報

- 一般的な産業において、新たに障がい者の従事する職務として創り出しやすい定型的な作業の事例を表1.3に掲載します。畜産経営の中にも似たような作業があると思われるので参考にしてください。

■表1.3 創り出しやすい定型作業例

領域	定型作業例
現業部門	段ボールの組立、段ボールの解体 カートやかごの整理 店舗、トイレ、お客様休憩コーナーの清掃 容器や食器の洗浄 器具や部品の洗浄 製品にラベルを貼る 部品のバリ取り(材料を加工した際に出る不要部分の除去) 店舗、工場で出されたゴミの分別・回収 建物や緑地部分の清掃 社用車の洗車 POPの作成(店舗内手作り広告の作成) 社員用休憩室の清掃 駐車場の清掃(ゴミ拾い) 緑地の手入れ

「はじめからわかる障害者雇用 事業主のためのQ&A集」p23より、現業部門を抜粋

### ●耕種作業の例



マコモタケの皮むき



播種(整然と並べられた種子)



高設栽培のイチゴ苗の定植